

# プラズマ・核融合学会誌

第87巻第1号

2011年1月

巻頭言	年頭にあたり-PLASMA CONFERENCE 2011とプラズマ科学連合-	藤山 寛	1
小特集	実用化プロセスにおけるプラズマ源の革新 ~平行平板プラズマ源から新プラズマ源へ~		
	1. はじめに	豊田 浩孝	3
	2. マイクロ波表面波プラズマを用いたシリコン酸化窒化	山本 伸彦	4
	3. 超高周波を用いた大面積プラズマCVDの開発と薄膜シリコン太陽電池への応用		
	..... 竹内良昭, 真島 浩, 西宮立享, 大坪栄一郎, 山内康弘, 高塚 汎		9
	4. MMTプラズマを用いたゲート絶縁膜形成	小川 雲龍	14
	5. 大規模マイクロ波ラインプラズマの開発	進藤 春雄	18
	6. 低インダクタンス内部アンテナを用いたプラズマ源の開発と		
	反応性プラズマプロセスへの展開	節原 裕一	24
	7. おわりに	豊田 浩孝	34
講座	メタンの高度利用技術		
	4. 燃料電池, メタン利用技術との観点から	佐藤 一則	36
	5. まとめ	原田 信弘	42
講座	パルスパワー技術入門		
	1. はじめに	江 偉華	44
	2. パルスパワー技術の歴史とその仕組み	江 偉華	46
研究論文	レーザー核融合炉液体壁チェンバー内のアブレーション生成ブルームのシミュレーション		
	..... 古河裕之, 乗松孝好		51
	2010年度若手優秀発表賞選考結果の報告		56
	Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		58
追悼			59
インフォメーション			60
	ITER だより <sup>(25)</sup>		
	Plasma & Fusion Calendar		62
本会記事			63
	第27回年会報告/学会賞募集のお知らせ/高校生シンポジウム「プラズマ科学が拓くエネルギーと環境の未来像」報告/投稿規定		

## 表紙の絵

マルチパストムソン散乱計測は, S/N比改善, 温度非等方性の測定に有効であると考えられている. 2枚の共焦点球面ミラーを用いた場合を解析し, 現実的な配位での最大往復回数等を求めた. 図は He-Ne レーザーを用いた原理検証実験におけるミラーの写真で, レーザーが2枚のミラーを往復する様子が示されている. 図内の番号はレーザーの当たる位置と順序を示す. (Junichi HIRATSUKA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.5, 044 (2010) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用, 転載, 翻訳等)に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.